

科目名（英文表記）	経営組織Ⅰ（組織行動マネジメント） (Business Organization I)										
科目区分	基本科目	単位数	2 単位								
担当教員名	西村 友幸	ナンバリング	MBA_B_BO 5111								
研究室番号	320	研究室電話番号	27-5327								
Eメール・アドレス	nishimura@res.otaru-uc.ac.jp										
授業の内容及び方法： 次頁以降に記載											
<p>授業の目的：</p> <p>組織行動（Organizational Behavior）は、組織における人間の行動を意味します。組織行動を説明し、予測し、統制できる能力はマネジャーにとってきわめて重要です。本授業は、マネジャーやマネジャー候補生が身につけるべき組織行動に関する基本および応用的知識の修得を目的としています。</p> <p>組織における人間行動の分析は通常、①個人レベル、②組織レベル、③個人と組織とを架橋する集団（グループ）レベル、の3つのレベルでなされます。本授業でもこれら3つのレベルで組織行動とそのマネジメントの理解に努めます。具体的には、パーソナリティ、モチベーション、リーダーシップ、集団の意思決定と行動、コミュニケーション、組織構造と組織文化、組織の変革などのトピックスを取り上げます。</p> <p>以上より、本授業の到達目標は、組織行動に関する基本的知識の修得（主に講義とその予習・復習を通じて）および応用的知識の修得（主にケース討議とその予習・復習を通じて）により、現在もしくは将来のマネジャーである受講者が、組織行動を説明し、予測し、統制できる能力を身につけることにあります。</p>											
<p>使用教材：</p> <p>テキスト：『MBAのための組織行動マネジメント』（小樽商科大学ビジネススクール[編]、同文館出版）</p> <p>参考資料：『【新版】組織行動のマネジメントー入門から実践へ』（スティーブン P. ロビンス著、ダイヤモンド社）</p> <p>その他、必要に応じて随時資料等を配布します。</p>											
<p>成績評価の方法：</p> <p>以下の評価項目に基づき評価します。</p> <table border="0"> <tr> <td>・出席</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>・授業への貢献度（質問、ディスカッション、その他授業への貢献）</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>・ケース分析レポート（事前・事後）</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>・試験（最終試験）</td> <td>30%</td> </tr> </table> <p>評価に不服のある場合には、不服申立書を以て、教務委員長に申し出ること。</p>				・出席	10%	・授業への貢献度（質問、ディスカッション、その他授業への貢献）	20%	・ケース分析レポート（事前・事後）	40%	・試験（最終試験）	30%
・出席	10%										
・授業への貢献度（質問、ディスカッション、その他授業への貢献）	20%										
・ケース分析レポート（事前・事後）	40%										
・試験（最終試験）	30%										
<p>履修上の注意事項：</p> <p>5 時限以上欠席した場合、自動的に不可となります。</p>											

授業の内容及び方法

モジュール 1 オリエンテーションと組織行動学の概要	
事前準備	テキスト『MBAのための組織行動マネジメント』の第1章「組織行動学とは」を熟読し、組織行動学の概要を把握しておいて下さい。
第1時限	オリエンテーションと組織行動学の概要（講義） 冒頭で授業の進め方などについて説明します。その後、組織行動学の概要について、具体的には以下の内容を講義します。 ①組織行動学の生い立ちと関連分野 ②組織行動学の基礎的な概念 ③その他
第2時限	組織行動学の概要（観察と討議） マネジャーが登場するビデオを見て、組織行動の諸要素やそれらの特性についてグループまたはクラスでディスカッションします。
復習	講義とビデオの内容を振り返り、組織行動学の基本的知識の定着を図って下さい。

モジュール 2 組織の中の個人	
事前準備	テキスト『MBAのための組織行動マネジメント』の第2章「組織の中の個人」を熟読するとともに、第4時限のディスカッションで利用するケースの事前分析の結果をE-learningにアップロードしておいて下さい。
第3時限	組織の中の個人（講義） 組織の中の個人について、具体的には以下の内容を講義します。 ①パーソナリティと個人行動 ②モチベーション ③個人による意思決定 ④個人の能力開発 ⑤その他
第4時限	組織の中の個人（ケース） 組織の中の個人について、ケースを基にクラスでディスカッションします。
復習	講義とディスカッションの内容を再検討し、ケース分析の結果をE-learningにアップロードして下さい。

モジュール 3 グループ行動の基礎	
事前準備	テキスト『MBAのための組織行動マネジメント』の第3章「グループ行動の基礎」を熟読するとともに、第6時限のディスカッションで利用するケースの事前分析の結果をE-Learningにアップロードしておいて下さい。
第5時限	グループ行動の基礎（講義） グループ行動の基礎について、具体的には以下の内容を講義します。 ①組織行動学におけるグループの位置づけ ②グループによる意思決定 ③グループ能力の向上 ④その他
第6時限	グループ行動の基礎（ケース） グループ行動について、ケースを基にクラスでディスカッションします。
復習	講義とディスカッションの内容を再検討し、ケース分析の結果をE-learningにアップロードして下さい。

モジュール 4 コミュニケーション	
事前準備	テキスト『MBAのための組織行動マネジメント』の第4章「コミュニケーション」を熟読するとともに、第8時限のディスカッションで利用するケースの事前分析の結果をE-Learningにアップロードしておいて下さい。
第7時限	コミュニケーション（講義） コミュニケーションについて、具体的には以下の内容を講義します。 ①コミュニケーションとは ②対人コミュニケーションを成功させるための知識と技術 ③その他
第8時限	コミュニケーション（ケース） 組織におけるコミュニケーションについて、ケースを基にクラスでディスカッションします。
復習	講義とディスカッションの内容を再検討し、ケース分析の結果をE-learningにアップロードして下さい。

モジュール5 リーダーシップ	
事前準備	テキスト『MBAのための組織行動マネジメント』の第5章「リーダーシップ」熟読するとともに、第10時限のディスカッションで利用するケースの事前分析の結果をE-Learningにアップロードしておいて下さい。
第9時限	リーダーシップ（講義） リーダーシップについて、具体的には以下の内容を講義します。 ①リーダーシップに関する基礎的な知識 ②リーダーシップとグループと組織の関係 ③リーダーシップを発揮するための要件・技能 ④その他
第10時限	リーダーシップ（ケース） リーダーシップについて、ケースを基にクラスでディスカッションします。
復習	講義とディスカッションの内容を再検討し、ケース分析の結果をE-learningにアップロードして下さい。

モジュール6 組織としてのシステム	
事前準備	テキスト『MBAのための組織行動マネジメント』の第6章「組織としてのシステム」熟読するとともに、第12時限のディスカッションで利用するケースの事前分析の結果をE-Learningにアップロードしておいて下さい。
第11時限	組織としてのシステム（講義） 組織としてのシステムについて、具体的には以下の内容を講義します。 ①組織構造 ②業績評価と報酬システム ③組織文化 ④その他
第12時限	組織としてのシステム（ケース） 組織としてのシステムについて、ケースを基にクラスでディスカッションします。
復習	講義とディスカッションの内容を再検討し、ケース分析の結果をE-learningにアップロードして下さい。

モジュール7 組織変革と組織行動学	
事前準備	テキスト『MBAのための組織行動マネジメント』の第7章「組織変革と組織行動学」を熟読するとともに、第14時限のディスカッションで利用するケースの事前分析の結果をE-Learningにアップロードしておいて下さい。
第13時限	組織変革と組織行動学（講義） 組織変革と組織行動学について、具体的には以下の内容を講義します。 ①組織変革の内容 ②組織変革における「組織開発」と「組織への介入」 ③組織変革のプロセス ④組織変革におけるリーダーシップとコミュニケーション ⑤組織変革における個人の尊重とモチベーションの維持・向上 ⑥その他
第14時限	組織変革と組織行動学（ケース） 組織変革について、ケースを基にクラスでディスカッションします。
復習	講義とディスカッションの内容を再検討し、ケース分析の結果をE-learningにアップロードして下さい。

モジュール8 最終試験	
事前準備	組織行動マネジメントの授業内容を復習してきて下さい。
第15時限	最終試験 組織行動マネジメントの筆記試験を実施します。
復習	